

南無ちゃんのブログ 2012年2月

2月1日(水)	秋月電子の同軸コネクタは安いんだけど・・・	2
2月2日(木)	男の料理教室	3
2月3日(金)	薪割り	4
2月4日(土)	フィッシングショー OSAKA	5
2月5日(日)	ジェネカーの実習	6
2月6日(月)	ピオーネ剪定研修会	7
2月7日(火)	農業大学校社会人就農研修	7
2月8日(水)	パソコンの調教	8
2月9日(木)	薪割りで体を温める	9
2月10日(金)	Japanino で作る温度コントローラ	10
2月11日(土)	町内会の役員会	11
2月12日(日)	久々のクルージング日和	11
2月13日(月)	秋月の H8/3048F-ONE	12
2月14日(火)	RTTY 用インタフェース	13
2月15日(水)	広杉計器のネット通販は偉い！！	13
2月16日(木)	単管パイプで作る木小屋	14
2月17日(金)	寒い日は室内で電子工作	16
2月18日(土)	剪定の季節	17
2月19日(日)	雨水	18
2月20日(月)	やっぱり基礎は大事です	18
2月21日(火)	木小屋完成	19
2月22日(水)	温泉に行くなら平日の午前中	20
2月23日(木)	春一番かな？	21
2月24日(金)	薪割り+アマゴの燻製	22
2月26日(日)	New Sails で Sailing	22
2月27日(月)	確定申告の準備	23
2月28日(火)	4年前に買った SDR	23
2月29日(水)	アマゴ解禁前日	24

2月1日(水) 秋月電子の同軸コネクタは安いんだけど・・・

アマチュア無線に復帰するために、同軸ケーブルや同軸コネクタを買い込みました。同軸ケーブルは5D-2Eと8D-2Eという聞き慣れない外部被覆がポリエチレン製のものを買いました。5D-2Vや5D-FBなどは外部被覆がビニールなので、耐環境性という点ではポリエチレンの方がいいかなと思って試しに買いました。

5D用のM型同軸コネクタ(MP-5)を秋月電子で超安価(@70)に売っているのを、まとめ買いました。他の通販ショップだと結構お高いのです。(CQオームで@220、マルツで@609・・・桁が違いますね！)

実際に半田付けしようとしたところ、ちょっと難があります。どういうことかと言うと、同軸ケーブルの外部導体(編組)に半田付けする筒状の部品に穴が開いていないのです。以前使っていたものには、穴が開いていて、そこに半田を流し込んで外部導体と筒状の部品を堅固に半田付けするようになっていたのです。

最初、この部分をいい加減に半田付けしてみましたが、同軸ケーブルに触るたびに受信機からバリバリとノイズが聞こえて、明らかに接触不良を起こしています。

そこで、筒状の部品にディスクグラインダーで切り込みを入れて、半田付けしやすくしました。とってもいい感じに半田付けできました。



やっぱり、安いというのには何かあるんだなあ・・・なんて考えると疑心暗鬼になってきました。安いのは単に中国製だからということだけでしょうか？マルツには@807というお高いMP-5もあって、こちらは七星科学製です。耐圧AC1000Vとのことですが、一方の@609の方はAC400Vです。耐圧を決定づけているのは絶縁物の材質です。絶縁物が異なれば誘電率も異なり、特性イン

ピーダンスにも影響を及ぼします。

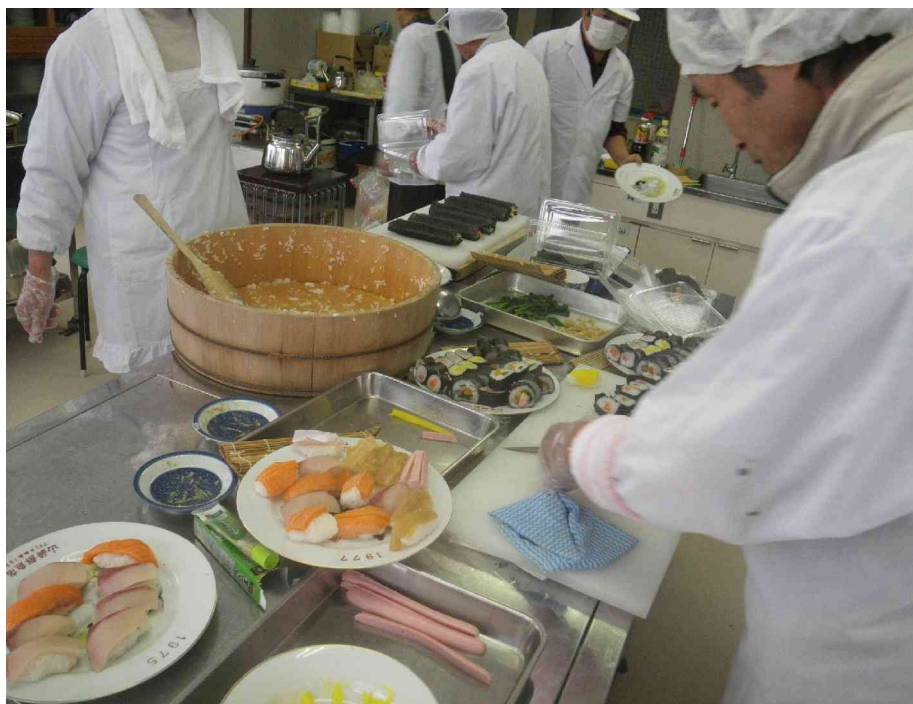
そんな疑いの目で改めて70円のMP-5を見ていると、本当に運用に耐えるのか心配になってきました。受信用に使うのなら問題ないでしょう。1k W (PEP)で送信すると、同軸ケーブルの特性インピーダンスは50Ωなので、電圧はピークで223Vということになります。となると、耐圧は1000Vもなくともよさそうです。

どうしてアマチュア用の無線機にはM型コネクタが多く用いられるのでしょうか？私が買った無線機はどれも(一部のUHF用を除くと)M型コネクタでした。でもプロ用の測定器などにはN型やBNC型が良く使われます。N型やBNC型のコネクタは絶縁物としてテフロン樹脂(または類似の白い樹脂?)が使われているので、耐圧を確保した上でかつ高周波特性も良好なんですよね。アマチュア用の無線機に多用されている理由はやはり「コスト」ということなんではないでしょうか?! だったら、@70のコネクタは的を得ています。所詮アマチュアですから、絶縁部が劣化して炭になれば、その時に考えれば良い事です。その程度のトラブルは全然問題ないですねえ! どうしても心配なら、無線機・リニアアンプからアンテナまで全部のM型コネクタをN型に交換しましょうね。

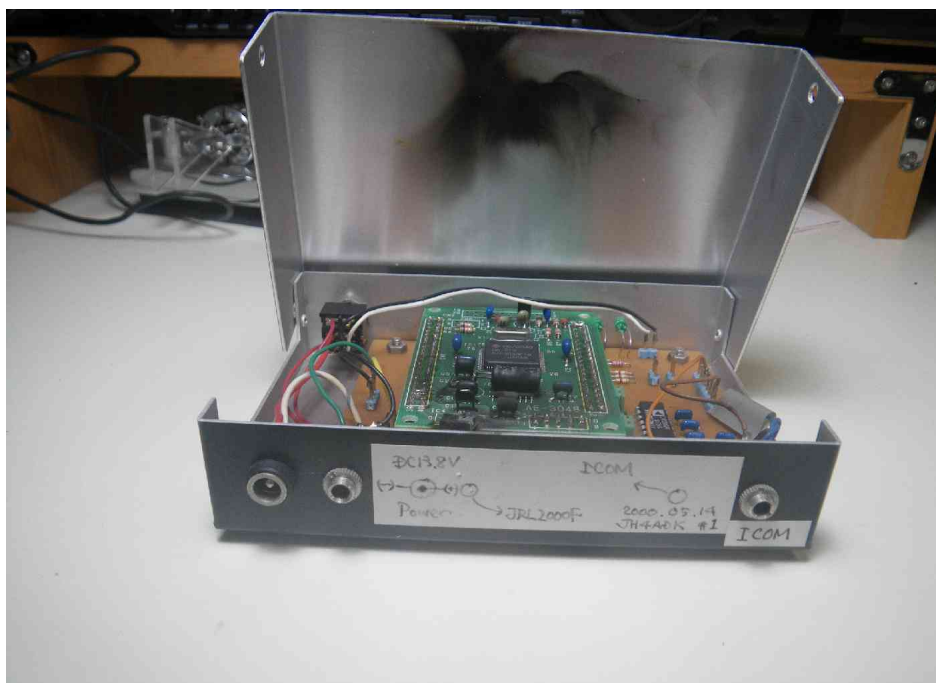
朝方から雪が降り始めて8時ごろまでに白くなりました。寒い日だったので、コタツトップでZipangu VIIのホームページを作成していました。URLは <http://www.zipangu7.com/> です。気が向いたら覗いてみてください。キャプテンやクルーの情報が収集しきれていないので、未完成のページもありますけど...

2月2日(木) 男の料理教室

今日は公民館で「男の料理教室」というイベントがあったので、参加しました。明日が節分、ということもあってか、テーマは「巻き寿司」でした。ついでに、握り寿司も作りました。手巻き寿司はやったことがあります、巻き寿司なんて作るのは初めてです。講師の先生に勘所を教えてもらったので、いろんな材料を入れて、美味しい巻き寿司を作ることができました。シャリというのか酢飯というのか、これは自分でやってないし、具の味付けも自分でやっていないので、あまり身に付いてないと思います。巻き方だけは6本も巻いたので習得できましたよ。



地面の上は薄っすらと雪化粧しているし、雪もちらついていたので、午後からはシャックで無線機の整備をしました。むかし製作したリニアアンプと無線機をトラッキングする装置が動作しなかったので、蓋を開けてみました。するとドッキリ玉手箱！焦げ痕たっぷりです。この装置も落雷時にやられたんですね。アマチュア無線から遠ざかっていた一つの理由は、落雷で相当の設備がお釈迦になったからです。いつまでも、くよくよしてはいけません。時間はたっぷりあるので、一つ一つ復旧していけば良いことですね。



焼損が酷いのはマイコン基板のレギュレータやコンデンサの周辺です。修理の順番としてマイコン基板だけを先に交換して見ようと思います。もう11年以上も前に作ったんですが、調べてみれ

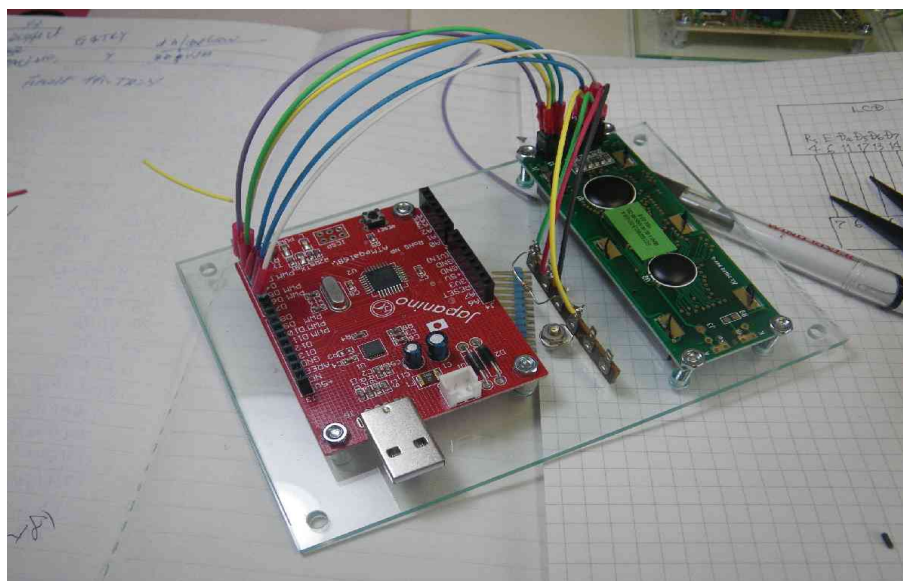
ば秋月電子では AKI-H8/3048 基板を未だに販売しているようです。ピン互換の後継機種である AKI-H8/3048F-ONE というのもあるようです。パソコンも代替わりしているので 11 年前に使用していたコンパイラなどの開発環境がまともに動作するかどうか怪しいので、2007 年に販売開始された 3048F-ONE を注文しました。(それにこっちの方が安かったし・・・) クロック周波数が違うようなので、コンパイルしなおす必要がありそうです。ソースコードはちゃんと保管されていることを確認しました。早速、秋月に注文しました。

夕方になって、JRC 製のリニアアンプの動作テストのために、ブラジルの局とニュージーランドの局と QSO しました。リニアアンプも調子よく動作しているようです。

2月3日(金) 薪割り

豪雪のニュースが報じられていますが、私の家の周りでは白くなる程度ですので、大したことはないです。でも、寒さは厳しいです。

朝から、Arduino のコピーで、雑誌「大人の科学」の付録として付いていた Japanino を持っていますので、それを使って、ベーコン・ハム製作用の温度コントローラの製作に取り掛かりました。アクリルの端切れを買っていたので、それに穴をあけたり、半田付けをしたりしました。



家の中で、こんなことばかりしていると体調に悪いので、運動も少しはしたほうが良いですね。てな訳で、先日、山から運んできた木を割りました。いわゆるマキ割りですね。マサカリを使って、立てたマキを上段の構えからスパッとやるやつです。本当に久しぶりにやりますが、昔取った杵柄宜しく、気持ちよくスパスパ割れました。40 分程やったら汗もでてきたし、また今度のエクササイズのために残しておくことにしました。

2月5日(日) ジェネカーの実習

わがジパングセブンのキャプテンは、セールを新調すると同時にジェネカーも注文しました。でも今までジェネカーを使ったことがありません。そこで、ジェネカーのイロハをご教授いただくために、藤原さんの艇=SIENAにキャプテンと一緒に乗せていただきました。

この艇のクルーは若いディンギーの元国体選手やレース艇のオーナーなどバリバリの方々なので、動きもきびきびしています。風が弱くてちょっと残念ではありましたが、十分勉強になりました。

人がやっているのを見ていただけなので、マスターしたとは言いがたいのですが、今からセールが来るのが待ち遠しくなりました。



2月6日(月) ピオーネ剪定研修会

今日は時折小雨の降るどんよりの天気でした。町内で開かれたピオーネ(ぶどう)の剪定研修会に初めて参加しました。午前中は室内で、午後は屋外で実習があるという話だったので、午後も午後も参加しましたが、生憎の天気のため、残念ながら午後の実習は中止になりました。

ぶどうの剪定は未経験なので、分からない言葉や用語が多かったのですが、午前と午後とほぼ同じ話を2回も聞くと、だんだんと言葉が耳に馴染んできました。



2月7日(火) 農業大学校社会人就農研修

過日1月13日に、農業普及指導センターに相談に訪れた際に、ぶどうの栽培方法を勉強する一つのメニューとして農業大学校の社会人就農研修というのがありますよ！と紹介していただきました。2月6日から募集が始まっていますので、早速、本日、受講申し込み書を郵送しました。

競争率が3~4倍あるというので、撰に漏れるということもあるかも知れませんが、できれば受講したいです。

ぶどうを栽培しようと予定していますが、なにしろ、農業に関する基礎的な知識(たとえば、肥料、農薬、病気、害虫など)というのは一度も勉強したことがないので、出来ればみっちり勉強して商品価値のあるぶどうを作りたいと思っています。

書類審査と面接で可否を判定するというので、面接は3月22日の予定です。

今日も曇りのような小雨のような暗い天気でした。

午前中、図書館に本を返しに行って、別の本を借りてきました。その後、農協とコメリに立ち寄って帰ってきました。午後からは、キャプテンから預かったパソコンのリカバリーや WindowsUpdate を行いながら、秋月の H8/3048F-ONE をいじっていました。

2月8日(水) パソコンの調教

キャプテンが所有する Widows VISTA がインストールされたパソコンの動きがめっちゃ遅いので、これを改善するべく対策しました。長年パソコンを使っていると、ウィルスなどに感染していなくても、知らず知らずの内に色んなアプリやドライバをインストールするなどして動きがのろくなることがあります。ctrl+alt+del を押下してタスクマネージャを起動してパフォーマンスメータで CPU とメモリの稼働率を見たときに CPU が 60~90%、メモリが 90%を超えているようだとかなり重症です。何をさせてもとろくて、いつまで経っても終わりそうになさそうに見えます。

そんな時には、購入当初の状態に戻すこと(リカバリー)が有効です。しかし、リカバリーしただけでは不十分です。VISTA の場合、最新の SP(サービスパック)は SP2 ですので、この状態にまで更新する必要があります。

実は、SPなしの状態です NTT Docomo のモバイルデータ端末(L-02C)を使おうとしたのですが、デバイスドライバのインストール時にエラーが出て、正常に使用することができませんでした。SP2 にすると、正常に動作しました。

SP2 にするには、一度 SP1 にアップデートしてから、その上で SP2 にアップデートします。結構時間がかかりました。リカバリーの開始から SP2 の終了までには、ほぼ丸一日を要しました。

世間での VISTA の評判はあまり芳しくありません。パソコンに実装されたメモリが 1GB 程度だと、メモリが不足しているようです。実際、Windows7 ではパソコンのメモリとして 4GB が推奨されているようです。今でこそメモリの価格も低下してきたので、4GB メモリを実装することが一般的ですが、VISTA が発表された時代には 1GB が一般的なサイズだったので、これが災いしていると思います。メモリが 1GB のまま Windows 7 にアップグレードしても効果は期待できません。

SP2 にアップデートした後で、次のような VISTA の気に入らない機能を設定し直しました。

1)ガジェット(画面の右端に時計が表示されているやつです)

メモリを消費するし、CPUもパワーも消費します。ガジェットが起動しないように設定しました。

2)セキュリティーの警告

ウィルスチェックソフトをインストールしていないと、起動する度に警告が表示されて目障りこの上無いので、警告しないように設定しました。

3)その他不要なアプリケーションプログラムの削除

国産のパソコンの場合、不要なアプリが山のようにインストールされているので、それらを削除しました。

以上の設定で何とか使用に耐えうる状態になりました。ついでに、この状態でリカバリディスクを作成しておきました。(今度またリカバリする必要が生じた際に、時間短縮できますから・・・)

2月9日(木) 薪割りで体を温める

今日も雪の舞う寒い日でした。朝一はコタツトップでパソコンをいじっていましたが、体を動かして脂肪を燃焼させるために薪割りをしました。

1時間やって休憩30分というサイクルを3回で、先日裏庭に運び込んだ丸太は全部割り木になりました。

ピザ窯で焚くとすれば、20回分は裕にあると思います。



薪割りの後で、柚子の木を剪定しました。木が大きくなりすぎていて、実が取れないほどです。木が小さいときに適切に誘引しておけば良かったのですが、伸び放題に大きくなっています。風通しが良くなるように、木の真ん中の太い幹を切りました。以前(5年ほど前?)強く剪定した翌年は、木がショックを受けたのか、全く実をつけませんでした。今度もそうなるかも知れませんが、そうならないように切断面に癒合剤(トップジンMペースト)を塗りました。柚子ちゃん、ショックを受けないでね、お願い

中心部の太い幹以外は、柚子ちゃんがショックを受けるといけないので、そのままにしておきます。



2月10日(金) Japanino で作る温度コントローラ

午前中は、昨日割った薪を針金で束ねてみました。薪の一束というのは、どうやら決まりがあるらしく、約70cmに切った針金でわっか(金輪というらしい)を作り、それに詰めるだけ詰めたのを言うらしいのです。私が小学校の頃は、学校に石炭ストーブもありましたが、薪ストーブ(ダルマストーブ)もあって、針金が巻かれた薪を運んだ記憶があります。

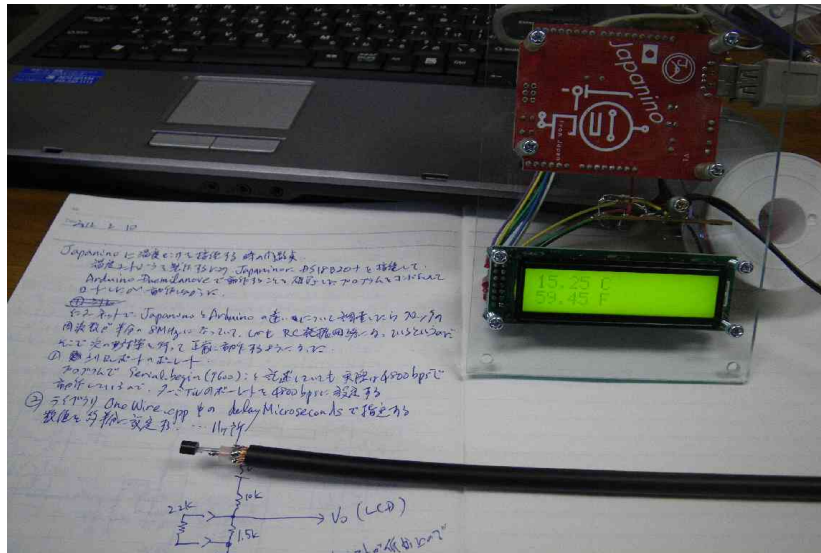
バラバラのままだと運ぶ時や積む時に不便なので、金輪に薪を入れてみました。確かに運びやすいし、10kg弱なので手頃な重さです。

インターネットで調べてみると、1束あたり400円から600円でした。



夕方から Japanino (大人の科学の付録) を使ったベーコン・ハム作成用温度コントローラの製作を少し進めました。SSR 部以外の配線はできたので、Arduino で試した温度測定するプログラムを動作させて見ました。

最初は思ったとおりに動作しませんでした。インターネットで Japanino と Arduino の違いを調べてみると、どうやら肝心なところが違うようです。一番深刻なのは動作クロックが違う点です。シリアルポートのボーレートを9600bpsに設定していても、実際には4800bpsで動作します。温度センサーからデータを読み取る OneWire ライブラリの中にソフトウェアタイマーでタイミングを作っている部分が11箇所あり、それらの値を半分に変更したら動作するようになりました。



写真手前の黒いケーブルは 5C-PE というポリエチレン製の同軸ケーブルで、その先に付いているのが温度センサーです。ポリエチレン (PE) の耐熱温度は約 90°C で、塩化ビニール (PVC) のそれ (約 60°C) よりも高く、ハムを茹でる時やベーコンを燻製にする時の温度である 65~75°C に耐えてくれるだろうと期待しています。

センサーの部分は耐水性も必要なのでエポキシ樹脂で固めようと考えています。エポキシ樹脂の耐熱温度は約 150°C らしいので十分です。

2月11日(土) 町内会の役員会

午前中は、先日からやっている薪造りをしました。新たに薪を取りに行って、36cm の丸太にカットしました。

今日は午後 3 時から町内会の役員会がありました。総会を 3 月 11 日に予定しているので、その議題などについての打ち合わせがメインテーマでしたが、その後の懇親会というか飲み会が長引きました。帰宅したのは午後 10 時前でした。

超過疎化の町内会なので、その存続をかけたディスカッションが熱気を帯びているのです。今、帰宅して風呂に入ってからブログを書いています。かなり疲れました。

2月12日(日) 久々のクルージング日和

1 月以来ずっと寒い日が続いていましたが、今日は気温も上がり一日中晴れてクルージング日和になりました。一日海に出ていると、日焼けしてしまうくらいでした。次回は日焼け止めとリップクリームを持って行く必要があります。

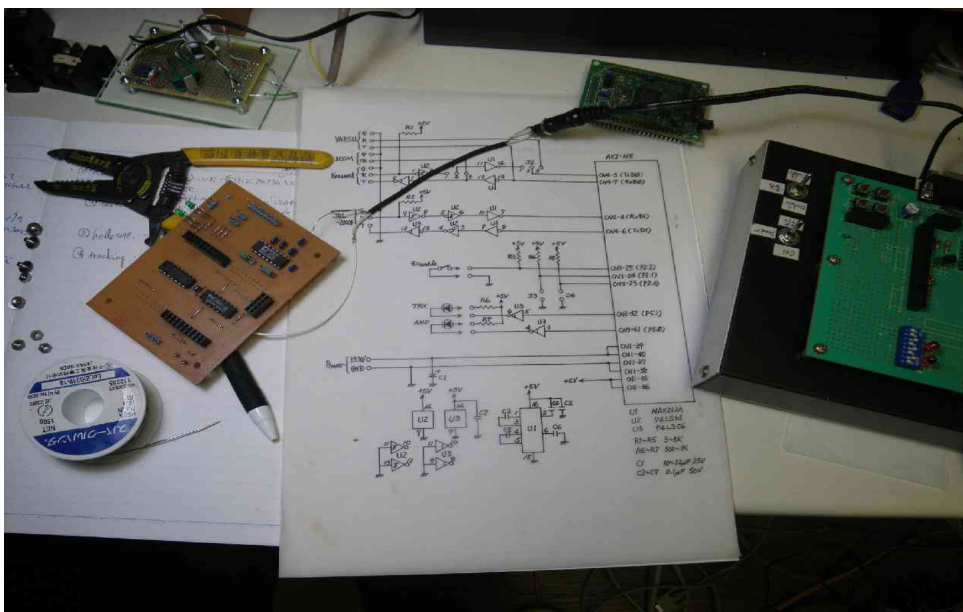


2月13日(月) 秋月のH8/3048F-ONE

今日は朝から雪が降っていましたが、昼頃には雨に変わりました。それでも気温が低いせいか、地表の雪はべちゃべちゃになっても、解けずにシャーベット状のままでした。



無線小屋で電子工作をして過ごしました。今日のテーマは秋月のH8/3048F-ONEボードです。



写真に見える黒い箱と緑色の基板のセットはAKI-H8への書き込みツールで、茶色の基板はトラッキング装置用のマザーボードで、両方とも2000年に製作したものです。

最終的には、落雷で壊れた無線機とリニアアンプとを連動させるトラッキング装置を修理するのが目的です。

トラッキング装置用のプログラムを変更する前に、記憶と勘を取り戻すために、いくつかのサンプル

ルプログラムやテストプログラムをコンパイルして、書き込んで動作確認しました。その後でトラッキング装置用のプログラムを書き込んで試してみましたが、残念ながら期待通りには動作しませんでした。恐らく、トラッキング装置の中の部品(IC)が落雷時に故障したのだと考えられます。3つのIC(74LS06, 74LS14, MAX232A)を千石電商に注文しました。まだ、DIP部品のTTL-ICなんて手に入るんですね。

トラッキング装置の修理はICが来るまでお預けです。

2月14日(火) RTTY用インタフェース

今日は朝からシトシトと冷たい雨が降りました。

なので、無線小屋でラジオを聴きながら、RTTY用インタフェースのを作りました。MMTTYと組み合わせて使用する予定です。もちろん、WinPSKやMMVARI、MMSSTVなどと組み合わせて使用することができます。

以前からオーディオインタフェースの部分は完成していましたが、PTTとFSK-keyingの部分を追加しました。オーディオインタフェースにはトランスを用い、デジタルインタフェースにはフォトモスリレーを使った、アイソレーションタイプのこだわりのインタフェースです。

ラジオ番組はNHK第一のラジオビタミンとかが結構好きですが、今日はラジオ日経の「集まれ株仲間」なんていう番組を聴いていました。日銀がインフレターゲットを設定した話題や追加金融緩和政策を発表した話題などがタイムリーに流れていました。

超御宅向きの番組だなあと思いました。でも半面、株や経済の勉強になるなあと思いました。

雨が上がった4時過ぎに、鍬をかついで散歩がてらに田んぼに行きました。30分程溝上げ(排水のために溝さらいをすること)をやったら体の芯から温まりました。

2月15日(水) 広杉計器のネット通販は偉い！！

空模様は一日中曇り空でしたが、昨日に比べると暖かい日でした。

朝の内に、不燃ごみを出して、その足で図書館と農協に行き、帰りにコメリで単管パイプやその他の資材を買ってきました。木小屋を作るための材料です。予算は全部で約7万円です。

実に泥縄的な成り行きで恥ずかしいのですが、先日から薪割りした薪を野ざらしにしておくのも心苦しいので、屋根付きの小屋に貯蔵しておこうという考えです。薪や焚き物は、ピザ窯の他、薪ストーブや五右衛門風呂などにも使いたいと思います。昔は、近所のどの家にも木小屋がありましたが、燃料革命のお陰で姿を消してしまいました。それを復活させて、エコな生活をしようという訳です。木を燃やすのはゼロエミッションですからね。

午後から、単管パイプで木小屋の骨格を作ろうと格闘しました。自在ジョイントで接続した単管パイプの枠組みは三角形が出来ていないとグニャグニャになるので、一人で立ち上げるのは結構苦労しましたが、なんとか目処が立ちました。



そんな作業をしていると、広杉計器から宅急便が届きました。昨日注文したばかりなのに、もう届いたのでびっくりしました。中身はネジとスペーサなのですが、ホームセンターでは黄銅ネジやジュラコンのスペーサは売っていないので助かります。

広杉計器のネット通販の素晴らしいところは、料金後払いだという点です。私もネットで色々買い物をしますが、大抵の場合、代金先払いか代引きです。

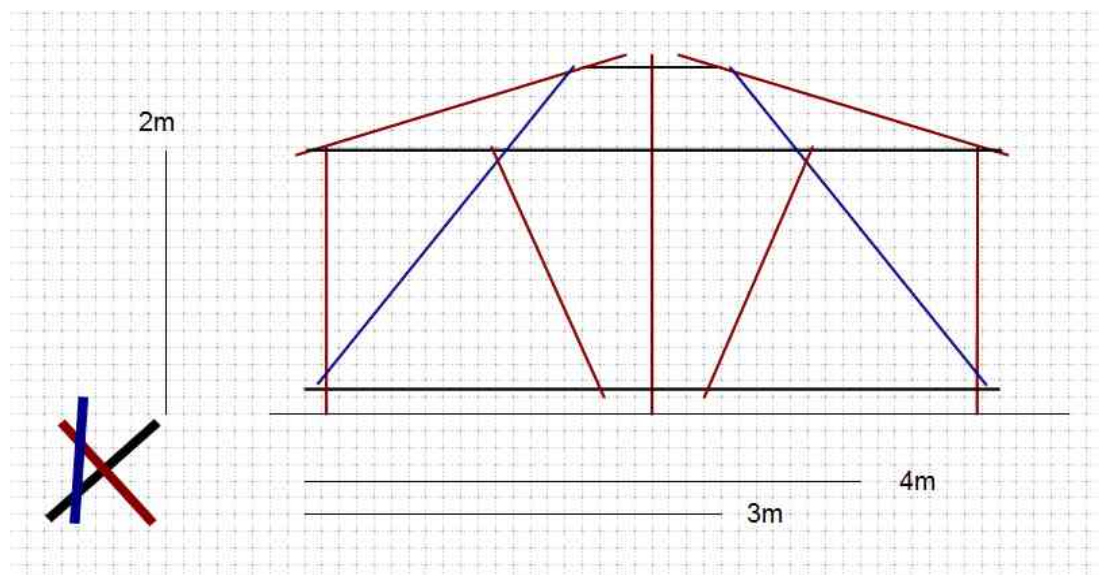
代金先払いというのは、売り手の側から見ると代金回収を第一に考えていらっしゃるんですが、買い手の側からみると「代金は振り込んだけど品物が配達されるまで心配」ということがあります。特に初めての取引だと余計に心配します。売り手も買い手も互いに疑う、いわば性悪説的なところがあるように思います。

一方、代金後払いというのは、性善説というか、考えがおおらかですよ。注文をもらった時から相手を信用して商品を発送するんですものね。そうすると、商品が届いたらなるべく早く振り込みしようねって思いますよね。

私も将来、ネットで葡萄を販売したいと考えていますが、代引きとかクレジットとかで代金を回収するとなると色々面倒臭そうなので、こういう方法もいいなあと思いました。

2月16日(木) 単管パイプで作る木小屋

昨日からの続きで、単管パイプで木小屋を作っています。枠組みを強固なものにするには、三角形をきっちり作る必要があることを昨日の实地演習で学びました。この課題を克服すべく、朝からコタツトップで設計をやり直しました。その結果が次の図面です。(2mのパイプを2本、3mのパイプを2本追加しました。)



上記の図面は OpenOffice の図面描画を用いて描きました。単管パイプと自在クランプでフレームを作る場合、パイプは立体的に交叉するということをイメージする必要があります。簡単にイメージできるように、色を変えて表現しています。パイプは奥から黒、赤、青の順に重なります。同じ色のパイプを交叉させないようにレイアウトしました。

この設計における第1の制約事項は「屋根を3寸勾配にすること」です。なぜなら、屋根材としてトタンまたはポリカの波板を使おうと考えており、棟用の部材が3寸勾配だからです。次の制約事項は屋根材として8尺(242cm)の部材を使うことです。その他、なるべく単管パイプは1m, 2m, 3m, 4m, 5mの物を使用し、カットは可能な限り避けるということです。手持ちの工具としてディスクグラインダーしかないので、カットするには手間がかかるからです。

この図面に基づいてフレームを組み立てました。(下の写真)



なんとか、一人でこの状態に立ち上げることができました。この後、真ん中の斜めになっているパイプを手で持って、垂直を調整しました。

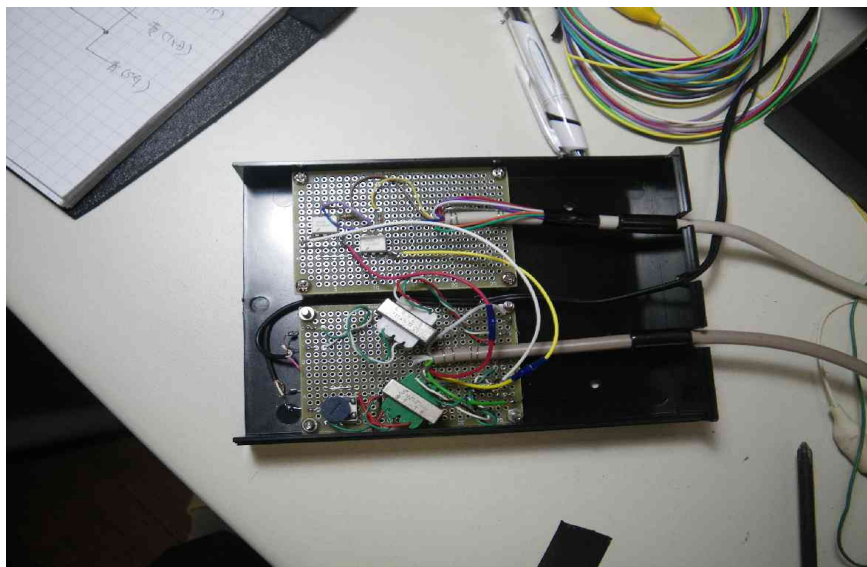
2月17日(金) 寒い日は室内で電子工作

今日は朝から雪が降りだして、風も強くて寒い日でした。午後から時折日が射していましたが、全般的に曇っていました。そんな日は無線小屋に籠って電子工作です。

昨日、千石電商から TTL-IC が届いていたので、今朝は早速トラッキング装置の修理のために部品交換してトライしてみました。残念ながら回復しませんでした。でも、LED は点滅しているので、マイコンボードはそれなりに動作しているようです。JRC のリニアアンプ側には 2 系統の制御信号入力コネクタがあるので、入力 B 側に繋ぎ代えてみると、JRC 側はうまく通信できるようになりました。どうやら JRL-3000F のシリアル I/F の入力 A 側が壊れているようです。

ICOM 側が、まだうまく通信できていません。ひょっとしたら ICOM の無線機側の CVI インタフェースが破壊されているのかもしれない。後日、別の ICOM 製リグ(IC-706MKII)を持ってきて、この仮説の真偽を実験により確かめてみるつもりです。

先日来製作していた PSK31/RTTY/SSTV 用インタフェースを箱に収納しました。これで、安心して使えるようになりました。



3 時頃、一時的に天気が良くなったので、先日来やっている木小屋作りを少し進めました。今日は、もう一方の壁に相当するフレームを起こして、高さを調整したり、壁間の長さを調整しました。



2月18日(土) 剪定の季節

キウイフルーツの枝の選定をしなきゃいけないなと思っていたんですが、1月からずっと寒い日が続いているので、ついつい後伸ばししているともう2月も下旬に近くなってしまいました。ものの本によると、剪定は2月の中旬頃までには・・・とあります。

手始めに伸び放題に育ったキウイフルーツから剪定しました。



空は青空なのですが、地表には薄っすらと雪が積もっていて、結構寒い日でした。

キウイフルーツに続いて、梅、柿、栗、山椒などを剪定しました。その後、木小屋の製作を進めました。壁の枠組みに垂木を渡しました。この小屋の広さは $3.5\text{m} \times 4.5\text{m} = 15.75\text{m}^2$ (4.7坪=約9畳)です。



2月19日(日) 雨水

今日は雨水。雨水とは二十四節気の一つで、そろそろ農作業の準備を始めましょうという時期らしいです。二十四節気って何?と思って調べてみました。

太陰暦だと日付は月の満ち欠けに連動するので、季節と乖離してしまうため、これを補うために二十四節気を用いられていたのだそうです。二十四節気の中には良く知られた春分、秋分、夏至、冬至、立春、立夏、立秋、立冬も含まれています。二十四節気は太陽の動き(黄道)を二十四で割ったものなので、太陽黄経の15度刻みに割り当てられていて、太陽暦の月日よりも正確に太陽黄経における地球の位置を表していると言えます。(ちなみに、雨水は太陽黄経330度)

今年が閏年で、おまけに閏秒も予定されていますので、暦のことがちょっと気になりますね。

今日は晴れていましたが、気温は冷たくて夕方には雪もちらつきました。

2月20日(月) やっぱり基礎は大事です

今日は快晴で気温もあがりました。

木小屋を造る作業をしました。単管パイプと自在ジョイントでフレームを作っているのですが、ラチェットレンチでチャリチャリ言わせて形はできあがりましたが、屋根を貼るためにトタン板をあてがって、いざ釘を打とうとすると、フレームがなかり歪んでいることが明白になりました。

柱や梁の垂直や水平を調整し直しました。垂直は下げ振り、水平は水準器でラフにまっぴかあ

てな感じでやりました。小屋だから適当でいいかと思って基礎とか土台とかは何も用意せずに始めたのがいけなかったのかもしれませんが。何事も基礎は大事ですね。



2月21日(火) 木小屋完成

今日で木小屋は完成しました。早速、薪などを運び入れました。今夜から天気が崩れるという天気予報なので、雨が降る前に完成して良かったです。



屋根を葺いた後で、冗長なパーツはないかチェックしました。恥ずかしながら、4mのパイプが2本と5mのパイプが2本、これらを固定するための自在ジョイントが15個不要になりました。金額にすると9785円分に相当します。なんという無駄！もう少しじっくりと机上で検討していれば、この不要な出費を防ぐことができたはずなのに……(反省)

反省ついでに、この木小屋を建てた際の反省点を挙げます。

- 1)基礎を設けて、レベルや位置を(zおよびxy座標)をしっかりと押さえること。
- 2)垂直や水平および角Rをしっかりと確認し修正すること。
- 3)棟波を葺く前に、両側の波板の山谷の位置を合わせること。
- 4)吹き降りに備えて軒の出をもう少し出すこと。
- 5)今回は棟木を用いませんでしたが、(単管パイプによる)棟木を用いた小屋組みにすること。
- 6)棟波の材料として樹脂製品を用いる場合は、割れを予防するために予め錐で穴あけすること。

初めて単管パイプで小屋を作りましたが、簡単に思った形が実現できて満足しています。他にも色々作りたいものがあるので、今回の経験を生かして、次回はより良く造りたいと思います。

2月22日(水) 温泉に行くなら平日の午前中

朝9時過ぎに家を出発して新見千屋温泉いぶきの里に行きました。今年は寒くて豪雪だと言われているので千屋のあたりはさぞかし大雪だろうなと思っていましたが、道路の上には雪はなくて楽に目的地である千屋温泉に着きました。10時半頃に到着しましたが、駐車場にも空きがありません。この駐車場は隣接するスキー場に近いため、スキー客が駐車しているようです。もちろんスキー場にはふんだんに雪があり、今日のスキー場だよりは110cmと書かれています。

平日の朝っぱらから温泉に浸かるのは初めてかもしれません。少なくとも、サンデー毎日になってからは初めてです。人は少ないし、お行儀の悪い子供もいません。やっぱり、温泉に行くなら平日に限るわ！午前中なら朝風呂気分が出て最高ですよ。これに味を始めて、病み付きになるかもしれません。

正午過ぎに温泉から上がって、館内のレストランで昼食を摂った後、すぐ隣の「つりぼり石田」に行きました。アマゴを15匹釣って帰りました。我が家の夕食に塩焼きで5匹消費し、今度のクルージングに持って行くために明日か明後日に燻製を10匹作る予定です。

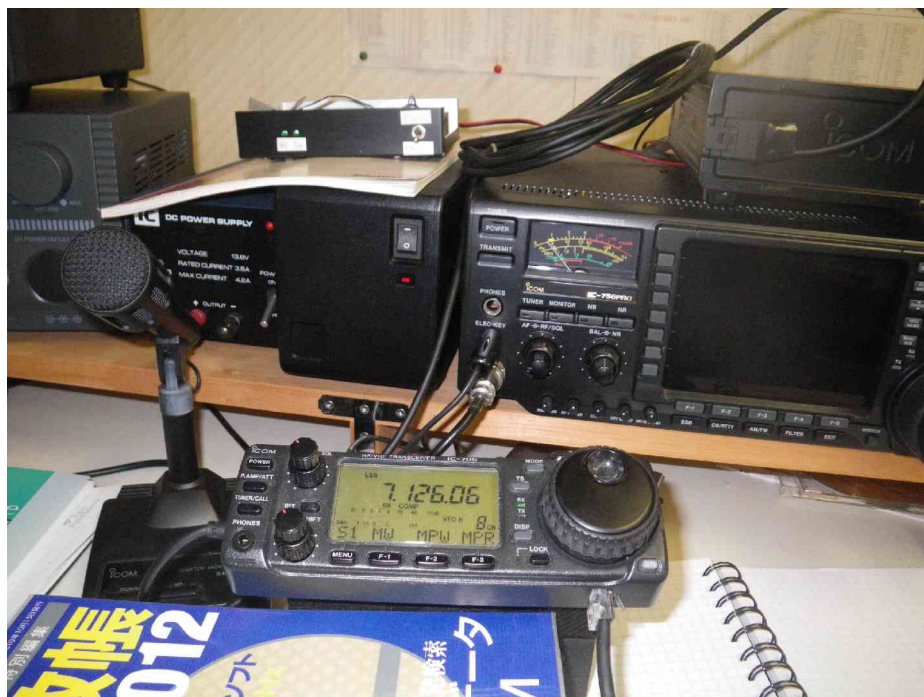


つりぼり石田の良いところは、釣った魚の内臓(腹)を出してくれる点です。料理の手間が省けます。

2月23日(木) 春一番かな？

朝のうちは雨でしたが、昼前に止みました。その後お日様が顔を出して気温も10°Cを超えたようです。でもかなり強い南風が吹きました。ひよっとしたら春一番かもしれません。蛙も土から出てきて眠そうな鳴き声を出していました。キュルルル・・・キュルルル・・・って鳴くんですよ。

修理中のトラッキング装置に別のアイコム製のリグ(IC-706)を接続して、IC-756Proが壊れているのか、トラッキング装置が壊れているのかを確かめました。その結果、IC-706との組み合わせでは正常に動作したので、IC-756ProのCI-Vインタフェースが故障しているとの結論を得ました。



早速アイコムのリペアセンターに電話して修理のために現品を送ってよいかどうか相談しました。IC-756Proは発売後10年以上経過しているので、故障部位によっては修理不能ということもあり得るということでしたが、宅急便で送りました。発送のために箱を探したところ保証書が出てきて、平成11年12月に購入したものであることが判りました。もう12年も経つのかあ・・・

しかしながら、この間に発売された新しい無線機に魅力を感じないんですよ・・・

アマチュア無線の無線機にも数々のイノベーションがあつたのですが、IC-756Proには殆ど盛り込まれています。私はSDR(Software Defined Radio)にとっても興味があるのですが、ICOMやYAESU, Kenwoodなどでは製品化されていません。

売ってないのなら造るか・・・と思ったりしています。(SDRの受信機は4年前に買いましたが、送信機能が付いたのが欲しいんですよ)

2月24日(金) 薪割り+アマゴの燻製

今日も暖かい日になりました。こんな日は外で体を動かす仕事に限ります。

木小屋も完成したので、遠慮なく薪を作れます。昨年伐採して放置していたアベ槇やクヌギの木を割り木にするために取りに行きました。1年経過しているので、今年ピザ窯で燃やすことができます。

昼から山頂アンテナタワーの周囲にある松や檜を伐採しました。もちろん、これらも薪にする予定です。この作業を3時過ぎに切り上げて家に戻り、アマゴの燻製作りをしました。燻製を作るときには傍にいてチップを切らさないように補給する必要があるので、薪割りをしながら燻製作りをしました。

燻製が出来上がった後は、残った七輪の火で「野鳥屋」の手羽を焼いて焼酎のお供にしました。



写真右下の銀色の箱が燻製器です。焚き火をして炭火を起こしました。

2月26日(日) New Sails で Sailing

土曜日は新しいセールのテストセーリングでした。SIENAのキャプテンやクルーの皆さんやセール屋さん他総勢10名でセーリングしました。穏やかな風だったので、ジェネカーも上げることができました。土曜日の晩はヨットですき焼きパーティーでした。



日曜日は ZipanguVII のクルーだけでセーリングに出かけました。寒気が入り込んだため寒い一日で、良い風が吹いていて、デッキを舐めるくらいヒールしました。



2月27日(月) 確定申告の準備

来週3月5日に確定申告に行こうと思っています。この日が私の部落の相談日だからです。今日は、そのための準備をしました。昨年退職したので、年末調整もできていません。退職所得もありましたし、国民年金や任意継続の健康保険も支払いました。インプラントが昨年末に完成したので、医療費も結構かかりました。東日本大震災の義捐金も控除してしてもらえそうです。

国税庁のホームページに今年初めてアクセスしました。e-taxって結構面倒臭そうです。ICカードリーダーが必要とのことですが、そんなの持っていません。これまで欲しいと思ったことはないのです、わざわざ急いで用意する気も起こらず「書面提出」の方を選びました。

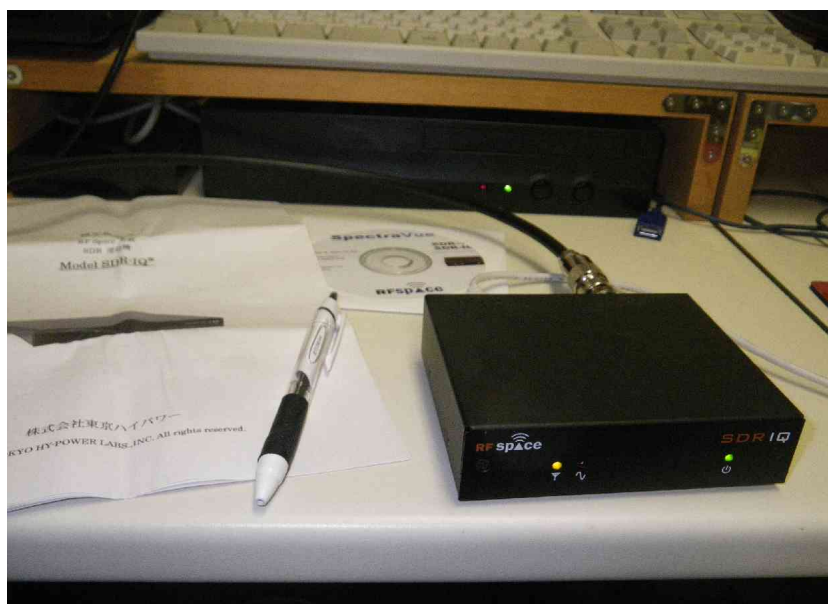
医療費や退職所得以外は年末調整の申告書でおなじみの項目ばかりなので、源泉徴収票や保険の控除証明書などを見ながら記入していきました。途中でデータが失われると嫌なので、途中でちょこちょこデータを保存しながらやりました。

農業所得(といっても自分は全く農業をしておらず 84歳の父がやっているのですが・・・)を除いた所得の申告書は出来上がりました。〇〇万円くらいは返ってきそうです。(これで鮎竿が買そうだとニンマリ)

2月28日(火) 4年前に買ったSDR

今日は一日中曇り空で気温も5°C程度の寒い日でした。アンテナと無線小屋の間のケーブルが敷設してある山の柴刈りをしました。10年近く放置していたので、藪になっていました。

作業は午後の早い時間に切り上げて、4年前に買ったSDRで遊びました。CQ誌で紹介された直後に購入したRFSAPCE社のSDR-IQです。4年前には仕事が忙しくてあまり深く掘り下げて研究できませんでしたが、今は大丈夫です。



当時は東京ハイパワーから購入しましたが、現在は取り扱いをやめているようです。しかし、この機械は現在でも販売されているようで、昨年秋にソフトウェアがバージョンアップされていました。

バージョンアップされたソフトウェアをダウンロードしてPCにインストールしました。

これだけの小さな箱ですが、受信感度は20万円クラスのアマチュア用無線機に比べて優るとも劣りません。この箱の中にはおそらくIQ変調器と67MHzサンプリングのADコンバータがあるのでしょう。USBケーブルでI成分とQ成分のデジタルデータをPCに送ってきて、PCではデジタル処理してフィルタリングした後に任意の復調(検波)を行って音声信号に変換していると考えられます。

IQ変調は受信時の復調だけではなく、逆動作である変調にも用いることができるらしいので、似たような仕掛けで送信機ができるという訳です。CQ誌の付録のSDR基板やDDS(Direct Digital Synthesizer)も買い集めたままになっているので、実験していきたいと思います。

2月29日(水) アマゴ解禁前日

今朝目覚めると銀世界でしたが、既に雪は降り止んでいました。湿っぽい重たい雪でした。朝のニュースでは関東では大雪だとか・・・。

明日3月1日は鳥取県の河川の解禁日です。朝の内に釣り道具の準備を済ませて、午後から日野川の下見に出かけました。気温は9℃くらいまで上がりましたが、お天道様の顔は見えませんでした。そのためかどうか分かりませんが、ほんの少ししか魚影を見つけることができませんでした。

明智峠を越えて、根雨に出て、プロスパー宇多で釣り餌を買いました。その後、生山を經由して多里行き、一山越えて豊栄を通り、高瀬から新見に出ました。多里から豊栄に越す峠には路面にも雪があり、4WDの威力を発揮することができました。やっぱり、明日は日南町方面は避けた方が無難かなと思います。何処に行こうか狙いが定まらないので、釣果が心配です。